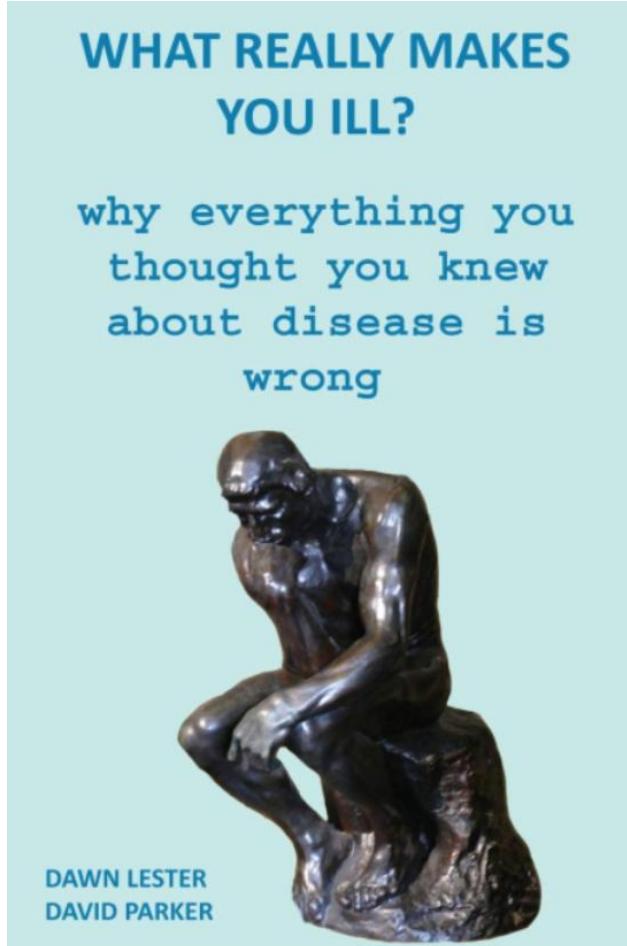


# 只今翻訳中の革命的著書 「病気の真の原因」



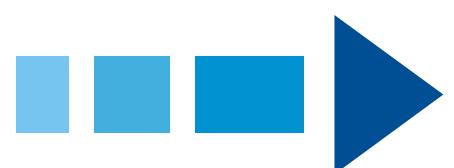
- 字幕大王、中村篤史(ナカムラクリニック院長)と共同で翻訳
  - 11月23日 大阪講演会
  - 12月30日 東京講演会
- 「世に出たら困る革命的医療の話」
- メディアでは絶対に報道されない
  - 学校でも教えてもらえない
  - それはなぜか？を3人で徹底解説



# 翻訳者が語る、日本人が知らされて来なかつた 「病気の真の原因」

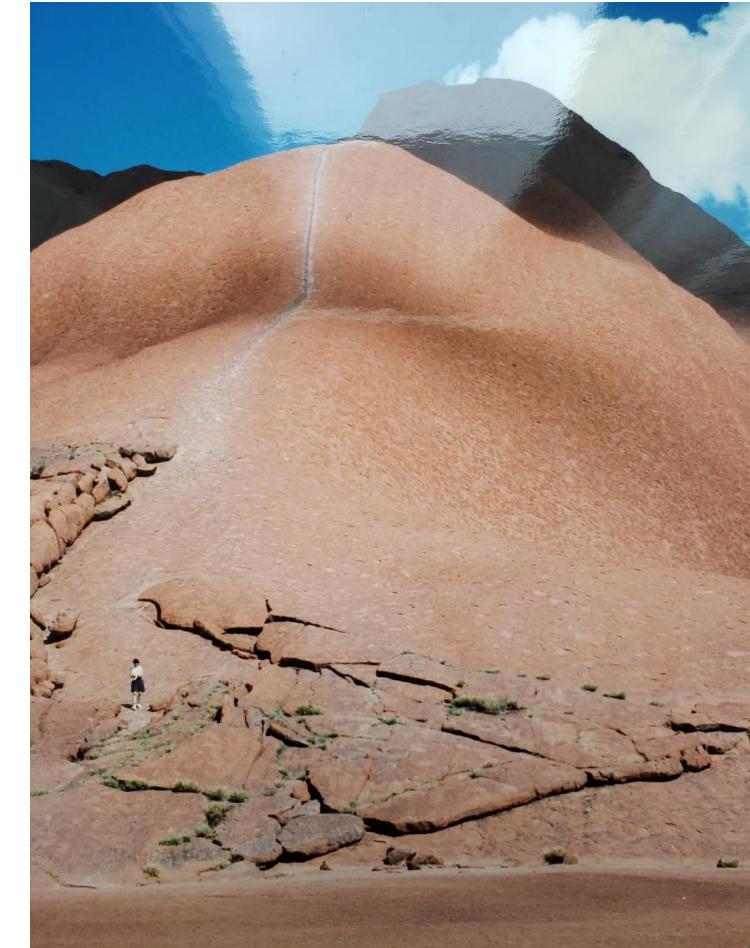
What Really Makes You Ill?

Why Everything You Thought You Knew About Disease Is Wrong



# こんにちは、リーシヤと申します

- ・カナダに約20年 自然医療に携わる  
(鍼灸師・中国医学・操体法・波動医学・食事指導)
- ・オーストラリアに約10年 エアライン勤務(客室乗務員)
- ・米国に約5年 留学・エアライン勤務  
(機内通訳・客室乗務員)
- ・映画字幕翻訳者  
(言語への興味)



# ツイッター: purplepearl

← **purplepearl**  
1,047 件のツイート



**purplepearl**  
@purplep76858690  
⌚ lihsia.com 📅 2021年1月からTwitterを利用しています  
7 フォロー中 1.6万 フォロワー

プロフィールを編集

**Julie Ponesse PhD**  
ジュリー・ペネッシ倫理学教授  
最後の授業 [pic.twitter.com/RWcIcw7doq](https://pic.twitter.com/RWcIcw7doq)



279 5890 11973

# 世界的権威 スチャリット・バクディ博士の本を翻訳 10月に出版されました！



起誰が、何のために  
こしたのか？

パンデミックは  
なぜ起きたのか？

そもそも  
そして

【世界的権威が謎を解く!  
緊急翻訳!】

感染爆発の波は  
あと何回来るのか?  
ワクチン接種さえすれば  
救われるのか?  
コロナ禍はいつになつたら  
終息するのか?

世界的権威が謎を解く!  
緊急翻訳!

ドイツ語圏ベストセラー第1位  
(欧洲最大部数「シュピーゲル」誌)

感染症研究の世界的権威、  
反ワクチン運動の急先鋒、  
ドイツ人研究者夫妻が  
コロナ禍の秘密を解明！

## スチャリット・バクディ

Sacharit Blakdal

微生物及び感染症・疫病学博士、医師。22年間にわたりヨハネス・グーテンベルク大学、マインツの病理微生物及び衛生学研究所主任教授として医療、教鞭、研究に従事。免疫学、細胞学、ウイルス学及び心臓・循環器疾患の分野で300以上の論文を執筆。数々の賞に輝く。ライアント・ファルツ州からは長年の功績に対して功労賞が授与された。

## カリーナ・ライス

Karina Reiss

細胞生物学博士、医師。キール大学皮膚科学クリニック教授。15年来、医療、生化学感染症・細胞生物学の研究に従事。60以上の国際的専門誌への寄稿論文があり、数々の国際的賞を受賞している。

## 字幕大王＆リーシャ旭川講演会

翻訳者が語る、日本人が知らされて  
こなかった「病気の本当の原因」

12/18 13:30～  
旭川市ときわ市民ホール 会議室2  
参加費 2000円、当日券2500円

WHAT REALLY MAKES  
YOU ILL?

why everything you  
thought you knew  
about disease is  
wrong



DAWN LESTER  
DAVID PARKER

お申し込み: [whats.everything@gmail.com](mailto:whats.everything@gmail.com)



主催: what's



# WHAT REALLY MAKES YOU ILL?

## 「病気の真の原因とは？」

- ◆ 第3章 細菌論
- ◆ 第6章 毒
- ◆ 第10章(最終章)  
病気の本質と真の原因

# 第3章 細菌論

- ◆ 科学実験
- ◆ バクテリア
- ◆ ウィルス
- ◆ 抗生物質・耐性・「スーパーバグ」
- ◆ 他の様々な菌  
    真菌・原生動物・寄生虫
- ◆ 免疫と抗体

# 細菌論

- 病気とは、外部からの病原体が無菌状態の体を攻撃すること
- 健康を維持するには、全ての病原菌やウイルスとの接触を避けること
- 最終的には、全ての病原菌やウイルスを死滅させることが必要である
- 西洋医学の基本



# 体内環境論

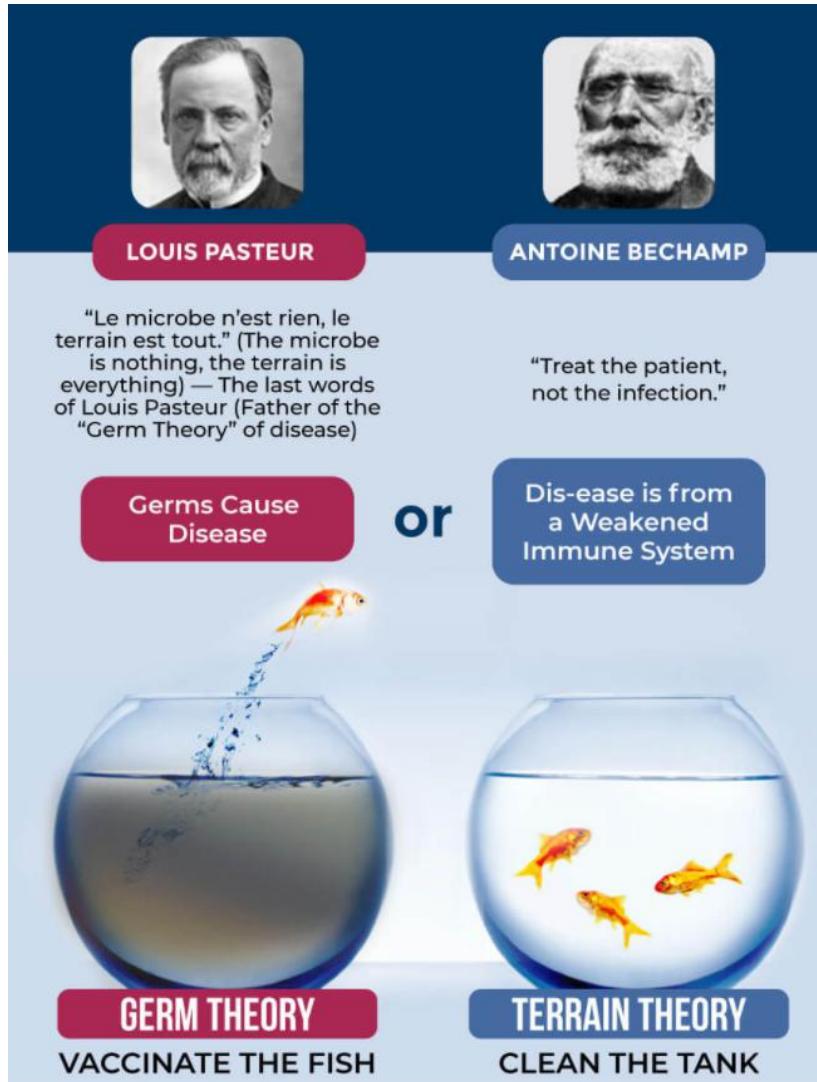
- 不健康で、体内バランスが崩れているほど、病気になりやすい
- 体内環境を改善すると、健康になれる



# ルイ・パスツール VS アントワーヌ・ベシヤン



# 細菌論 VS 体内環境論



# ロバート・ヤング博士



# ルイ・パスツール 1 (1822 - 1895)

- フランスの化学者、微生物学者
- 「細菌論」を提唱 → 病気の原因是細菌
- 細菌を殺すことが病気の予防と治療につながる
- 現代医療の基礎 → 細菌を追跡・治療・破壊・阻止
- 検査、予防接種、合成薬、抗生物質、化学療法、放射線、手術による体の一部や臓器の切除

# ルイ・パスツール 2

- 細菌論はベシャンの論文を盗用
- 非常にセンセーショナルな方法で実験
  - ↳ ボトルを積み、ブドウ畠ツアー、空気採取  
空気中に異なる場所で発酵させる細菌がいることを示す
- “pasteurization” 低温殺菌法の英単語はパスツールが由来
  - ↳ 実はオリジナルのアイディアではない
- 死の床でパスツールは撤回、「ベシャンは正しかった」
  - ↳ この発言を知る人は少ない
- でも、ベシャンって誰？

# アントワーヌ・ベシャン

(1816-1908)

- フランスの医学者、生物学者
- 発酵に関する多くの実験
- 基本的に微生物は内部からもやってくることを示す  
↳重要な研究
- 完全に健康な体液環境であれば、有害なバクテリアの影響を受けないと考えていた

# Germ Theory 細菌論

# Terrain Theory 体内環境論

VS

**theory** = 理論、学説、仮説、意見

**germ** = 細菌、病原菌、兆し、幼芽、胚

↳ 新しい生命、新しい成長という意味

**terrain** = (自然的特徴からみた) 地域、地勢、地形、  
規範、パラダイム

**terroir(テロワール)** = ブドウが育つ場所独特の環境を示す概念  
↳ 土壌を意味する **terre** から派生

# 言葉の理解が大切

- ・ “germ”は「新しい生命」良いイメージ  
↳「細菌・病原菌」と言う悪者のイメージが定着
- ・ 抗生物質＝生命に対抗する → 矛盾
- ・ 予防接種＝予防する？ → 勘違いさせる
- ・ ナチュラルキラー細胞 → 戦うイメージ
- ・ 免疫システム → 利権と結び付ける

# 医療システムのパラダイムは戦争モデル

- ・私達は常に体の中に入ってくる侵入者と戦っている
- ・病気と戦う、癌と戦う、様々な分野で戦いのメンタリティー
- ・医療はそれが中心
- ・石油化学医療を通じて商業戦略的に大成功
- ・細菌論は科学に基いていない
- ・細菌論に異を唱えるのが、体内環境論

# タンクの中の水が自分の体内環境



# 体内環境が整うと健康になる



# 字幕大王ブログより トーマス・コーワン:現代版 「ウイルスが原因であることの証明」

細菌ではなく、Terrainがすべてだ

彼は家族に言いました、この日記は公開するなど。明らかに、息子か義理の息子か、あるいは誰かが、彼のことを好きじゃなかったんでしょう、推測ですが。これを公開してしまったんです。で、わかりますよ、いかにパスツールが基本的には、これらの結果を不正に主張したかを。何も起こっていないのにです。それを知る方法の一つとしては、我々は今やわかつてます、彼は死の床で、明確に言ったのです、「細菌ではなく、Terrainがすべてだ」と。

# ウイルス

- ラテン語が由来
- 有害な物質、毒物の意味
- 当時の文献では、天然痘患者の膿をウイルスと呼ぶ
  - ↳ 感染拡大ではなく、単に毒と言う意味だった

ステファン・ランカ博士（上）  
トーマス・コーワン医師（下）

アンドリュー・カウフマン医師（下）



# ステファン・ランカ博士

- ドイツの科学者(ウイルス学、分子生物学、生態学、海洋生物学)
- 海藻に感染するウイルスの研究からキャリアをスタート
- 研究の過程で
  - ↳ 「私は病気の原因となるウイルスの存在の証拠をどこにも見付けることができなかった」
- ウィルス自体を検出できる検査はない
- ウィルス学者と名乗るのをやめた

# 「はしかはウイルスが原因」の主張は誤り

- ランカ博士、はしかウイルスの存在証明に、懸賞金を用意
- 2015年、ドイツ医師が6種類の論文を提示
- 証拠無しとし、懸賞金の支払いを拒否、論争、その後裁判
- 裁判は医師に有利な結果に終わる
- ランカ博士メディアにたたかれる

# ランカ博士、論文証拠無しと反論

- 2016年始め、裁判所はランカ博士の上訴を認める
- 同時期、はしかの症状が相次いだこともあり、メディアはランカ博士の上訴の結果について報道せず
- 詳細、字幕大王ブログ参照
- 今日までウイルスの存在を証明することができない
- では、風邪などの症状は何なのか？

# 風邪は再生サイクルのプロセス

- ・一年のある季節に風邪を引きがち
- ・体は常にサイクルを繰り返す
- ・冬の初め頃、上気道が生まれ変わる時期
- ・その年に吸い込んだ空気中のあらゆる物質をろ過して  
傷ついた組織を掃除する
- ・そのために、上気道感染症のプロセスを開始する
- ・ある種の再生サイクルとも考えられる

# 急性疾患とは何を意味するのか？

- ・急性疾患の症状は、ほとんど全てが再生サイクルが目的
- ・体液が毒素を洗い流す
  - ↳ くしゃみ、咳、涙、下痢、発熱
- ・体を温め発汗を促す
  - ↳ 発汗を促すと「邪気」が体表から追い出される（中医学）
- ・急性症状は回復に向けての重要なプロセス

# 第6章 毒

- ・自然界の毒
- ・人工毒とその用途
- ・毒入り食品
- ・汚染水
- ・毒まみれの体
- ・歯

私達の住む地球は、  
現代産業の廃棄物の保管場所となつた  
ジョー・ソーントン（米国生物学者 シカゴ大学教授）

自然界の毒 → 鉛、水銀、砒素、ウラン

人工毒と用途 → 化学物質、電解放射線、非電解放射線、水圧破碎、地球工学

毒入り食品 → 製造された食品、食品添加物、着色料、香料、  
グルタミン酸ナトリウム、保存料、塩、砂糖、人工甘味料、  
サッカリン、アスパルテーム、遺伝子組み換え食品

汚染水 → 水の塩素化、水のフッ素添加、その他の水に含まれる毒性物質

毒まみれの体 → 家庭用製品、化粧品・パーソナルケア製品、服

歯 → アマルガムの問題

# 鉛の中毒性

- 柔らかい金属元素
- 鉛労働者とワイン愛好家に鉛中毒の傾向（ベートーベン）
- ワインへの添加は、タンニンの収斂性を消す目的
- シックハウス症候群と鉛塗料と関連性
- 末梢神経系と中枢神経系、腎臓、血圧、生殖系に悪影響
- 極低レベルの曝露でも深刻な鉛中毒

# 水銀の恐ろしさ

- 室温で液体の金属元素
- 地球上で最も有毒な自然発生物質の1つ
- 20世紀初頭まで梅毒の治療に使用
- ワクチンに使用されるエチル水銀は無害の主張に根拠無し
- 神経毒（チツソ水俣工場、5,000人+神経疾患、500人死亡）
- 歯科用アマルガム成分の水銀が継続的に蒸発することで非常に危険（→ オレゴン州ナチュロパシーの例）
- 極低レベル暴露でも危険

# 塩

- ・高度に精製された食卓塩は、ミネラル無、漂白、アルミニウムを含む固結防止剤添加
- ・WHOは低塩分摂取推奨 → ↴ これの本当の意味とは？
- ・健康に害があるのは精製塩のみ、ミネラル豊富な天然塩は健康に有益と言われるが、そうとも言えない。。。  
↳ これについては意義あり！

# ロバート・ヤング博士



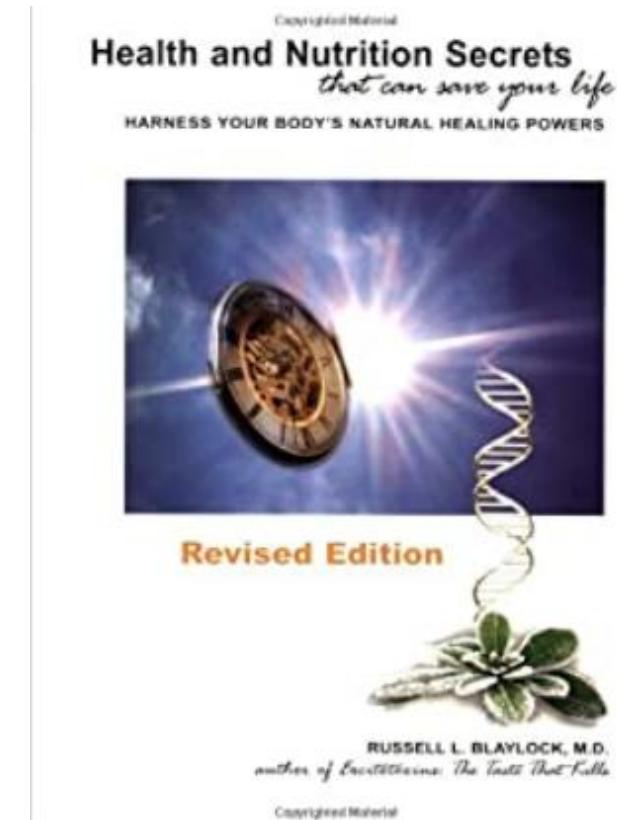
# フッ素

- フッ素と塩素は、ハロゲンと呼ばれる5つの化学元素グループのうちの2つ
- どちらも自然界には存在しないガス状の元素
- フッ素は虫歯を予防しない、歯と健康に悪影響
- 水のフッ素化は、水の塩素化とは異なり、すべての国で実施されているわけではない
- 水質汚染の原因は細菌ではなく、フッ素、塩素、産業廃棄物

# フッ化物は毒性が非常に強い

## ラッセル・ブレイロック博士

- 高反応性のため鉄、ガラス、鉄、アルミニウムなど、ほとんどの物質を食べてしまう
- 高反応性のため鉄、ガラス、鉄、アルミニウムなど、ほとんどの物質を貫通する
- その本質的な有毒性は、フッ化物の主な産業用途のいくつかに示されている
- 本タイトル「健康と栄養の秘密」
- フッ化物 → 歯磨き粉、洗口剤、塗布用のクリーム



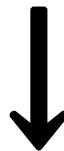
# 第10章(最終章)

## 病気の正体とその原因

- 病気の本質
- フィットネスとエクササイズ
- 4つの要素
- 栄養
- 毒性物質の暴露
- 電磁波被爆
- ストレス

# 現代医学の主張

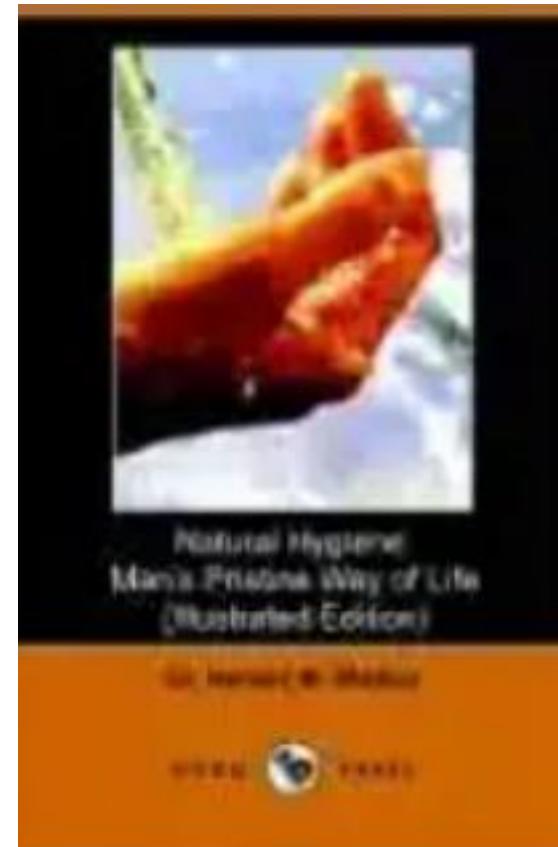
薬やワクチンが、損なわれた健康を改善  
科学的根拠に基づいた唯一の医療システム



最終章では、これらの主張が  
眞実からかけ離れていることを示す

# 「非主流」医療の代表 自然衛生学

- ◆ 19世紀に開発
- ◆ 初期の実践者に医師の資格
- ◆ 自然衛生学の先駆者らは、現代医学のアプローチを否定
- ◆ ハーバート・シェルトンは生涯にわたり、自然衛生学を実践
- ◆ 著書:ナチュラルハイジーン



# ハーバート・シェルトン (1895~1985)

- アメリカの自然療法家、代替医療や断食の提唱者
- 作家、平和主義者
- 子供の頃、動物に興味を持ち、特に農場の動物が病気になったときの断食に興味を持つ
- 食品を調理すると変性すること、体は医療の介入なしに回復力があると主張
- ローフード運動の初期に影響を与える
- 「シェルトン・スクール」断食で4万症例ほとんど回復

# ナチュラル・ハイジーンが 示す病気の説明

- ◆「病気」とは、体の機能が正常に働くなくなること
- ◆「症状」とは、有害な物質や影響の存在に対する体の反応
- ◆ 毒素の排泄、損傷の修復、体を本来の健康状態に戻る作用を含む
- ◆ 上記の説明の信憑性を、嘔吐と下痢で証明可能
- ◆ 毒物が胃に入ると、体は有害物質の存在を感知、それに応じた行動をとる準備をする
- ◆ 毒物は嘔吐によって吐き出されるか、大腸に送られ、激しい下痢で排出される

# 断食はお金のいらない治療法

- ◆ Intermittent Fasting 断続的断食
- ◆ 五臓六腑
  - ↳ 五臓=心臓、肺臓、肝臓、脾臓、腎臓は満たす
  - ↳ 六腑=小腸、大腸、胆嚢、胃、膀胱は空っぽにする
- ◆ 朝食= breakfast → “break fasting”
- ◆ 大腸を空にした後で、胃に物を入れる
- ◆ 水を効果的に飲む

# 東洋医学から見た体内時計

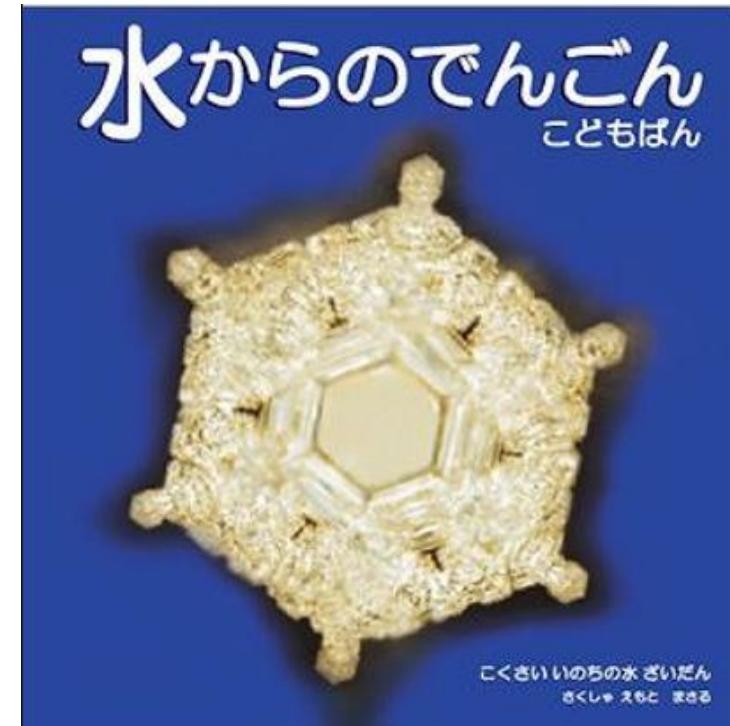


# 六臟六腑の時間割

肝	1:00-3:00	小腸	13:00-15:00
肺	3:00-5:00	膀胱	15:00-17:00
大腸	5:00-7:00	腎	17:00-19:00
胃	7:00-9:00	心包	19:00-21:00
脾	9:00-11:00	三焦	21:00-23:00
心	11:00-13:00	胆	23:00-1:00

# 水からのでんごん

- ・江本勝
- ・1980年代後半に「共鳴磁場分析器」を使って自然治癒法を開発
- ・波動水→情報を入れる前と後では効果が違う
- ・情報の可視化
- ・ポラック、コーウン、マディに影響



# 結晶には水に含まれている情報が反映される

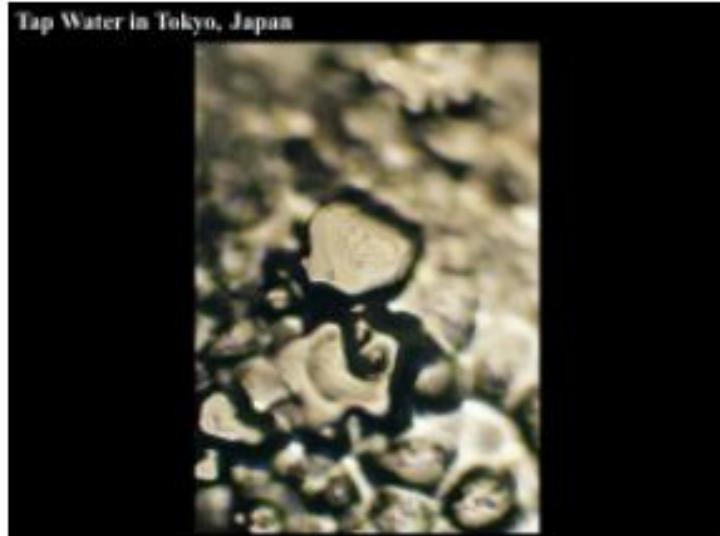


図4 日本東京の水道水



図5 イギリス・ロンドンの水道水



図6 カナダ・バンクーバーの水道水

# 水に音楽を聴かせる



図10 水に音楽を聞かせる

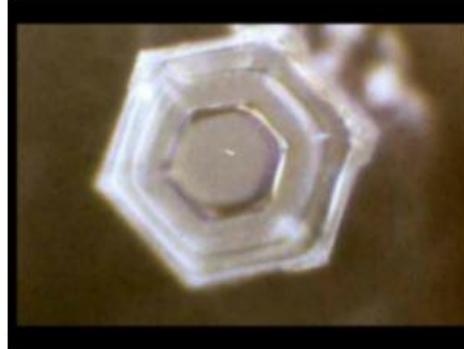


図11 音楽を聞かせる前の蒸留水

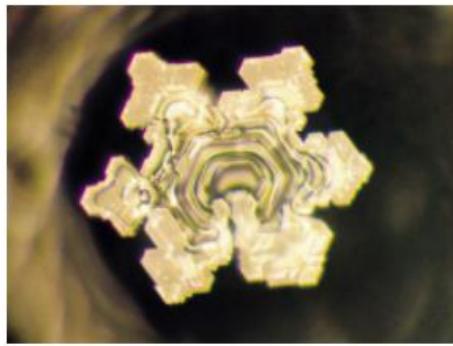


図12 モーツアルト「交響曲第40番ト短調」

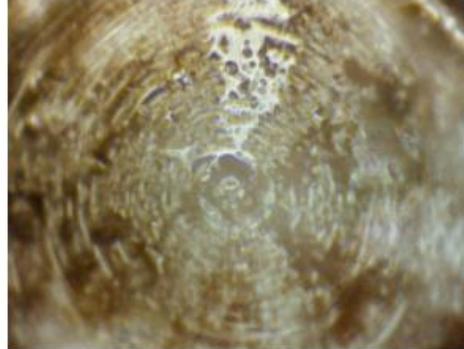


図13 あるヘヴィーメタルの曲

# 言葉の波動



図22「ありがとう」と「ばかやろう」を見せる



図23「ありがとう」を見せた水結晶

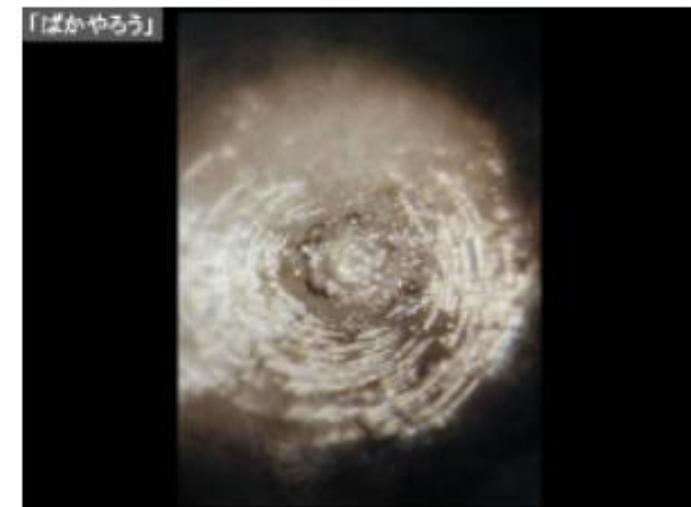


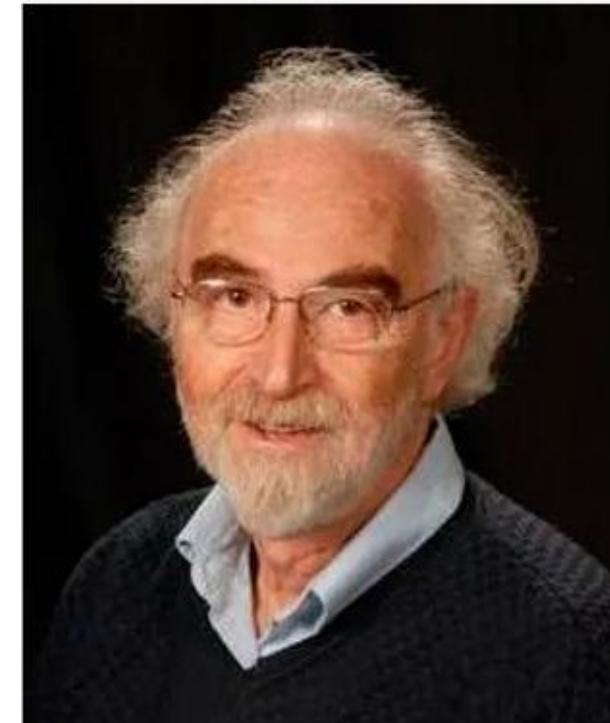
図24「ばかやろう」を見せた水結晶

水はH<sub>2</sub>Oとは限らない

# ジェラルド・ポラック

## ワシントン大学工学部教授 生物工学専門

- EZ Water=イーズイーウォーター
- Exclusion-Zone=排除層・排除帯
- 水には気体、液体、固体の3つの相
- 界面で発生する意外な第4の相
- 化学、物理学、生物学に多大な影響
- 自然界や技術分野で多くの応用が可能
- 研究所では特に健康面に重点



Gerald H. Pollack

# 水のフェーズ(相)

- (1) 固体
- (2) 液体
- (3) 気体

# 水 第4のフェーズ(相)

(1) 固体

← (4)

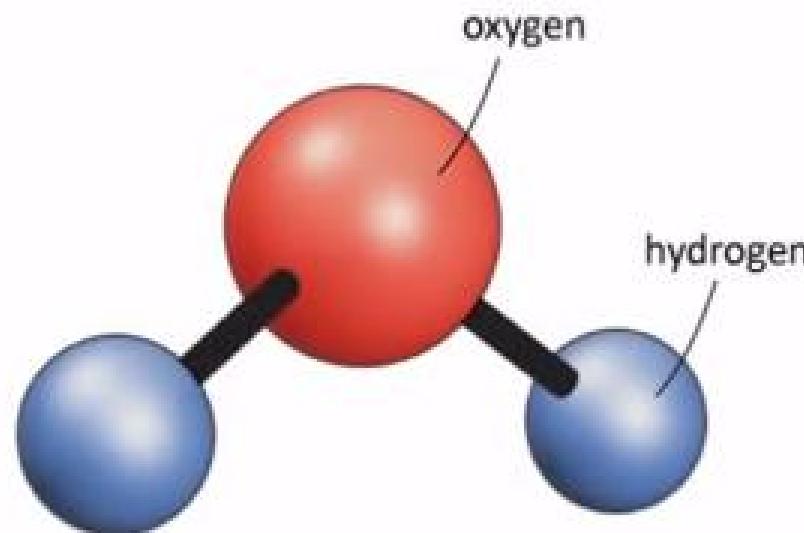
(2) 液体

(3) 气体

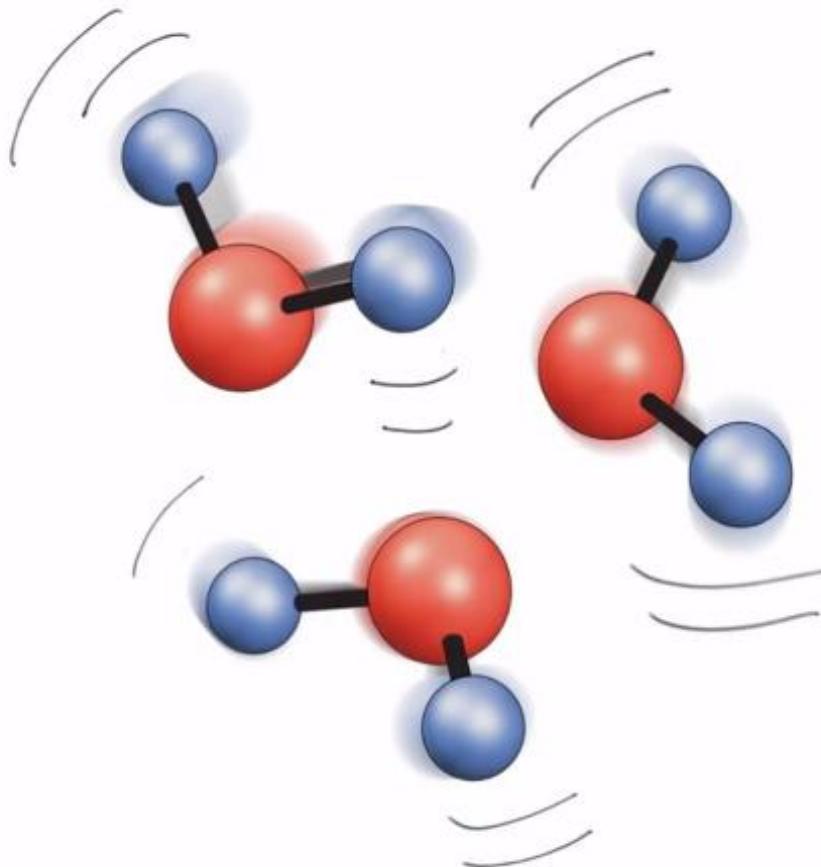
※100年前に物理化学者ウイリ  
アム・ハーディーが発見



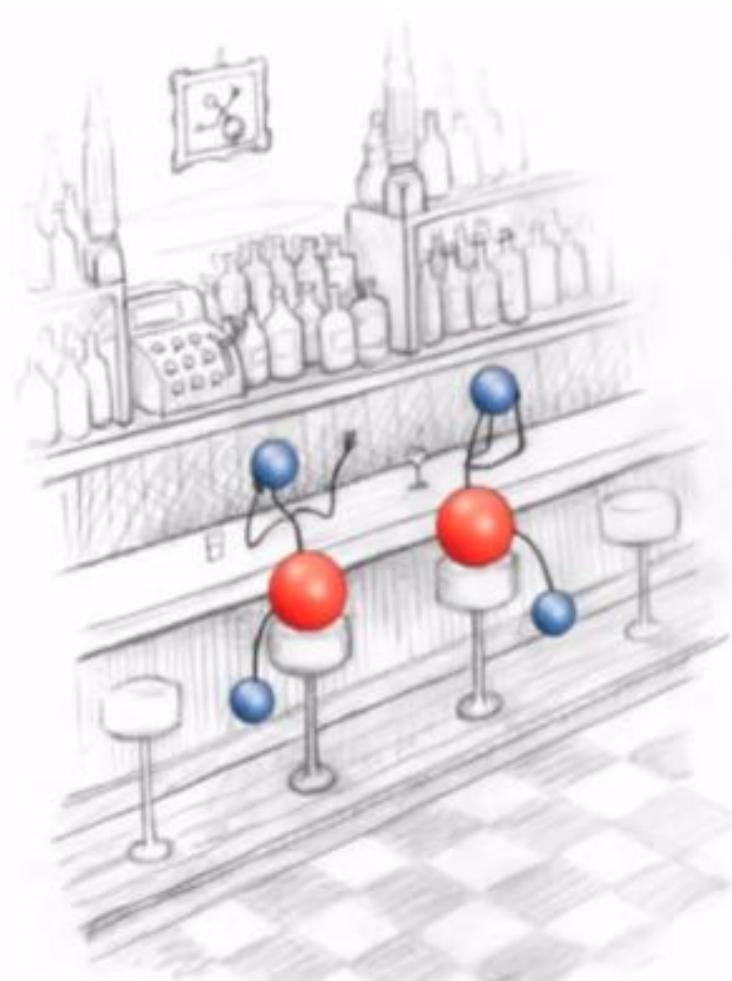
# 水はH<sub>2</sub>Oだけとは限らない



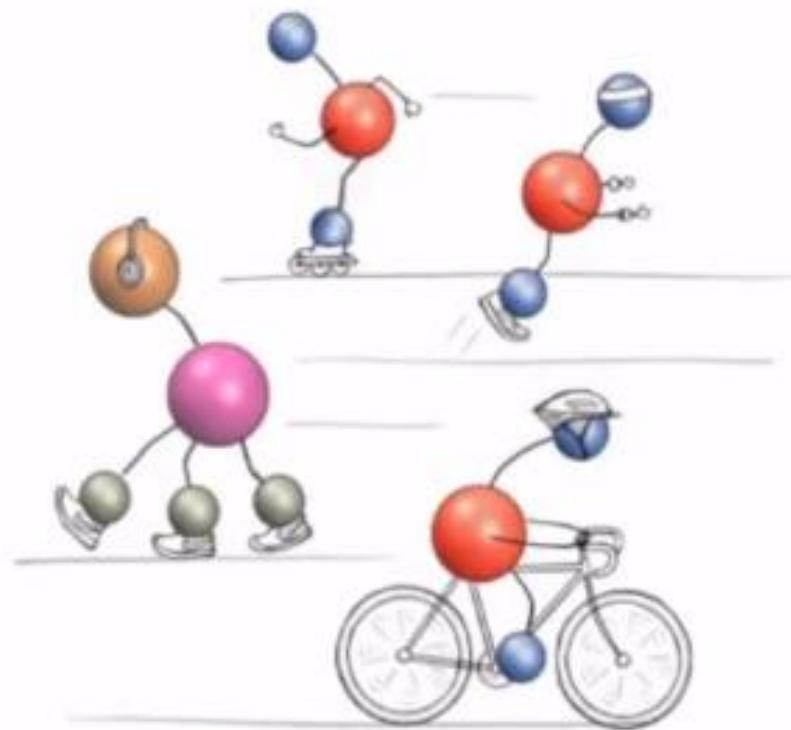
# 水は動き回る



# 水の社会的行動



# 水の運動・相互作用



蒸気が一面に広がっているのに、  
なぜ一つの雲に集中するのか？



# 水滴が水の上で浮かぶのはなぜか？

Droplets **floating** on water?



# ジーザス・クライスト・リザード



# 水のフェーズ(相)によっては H<sub>3</sub>O<sub>2</sub>の可能性

- ◆コップのふちと表面張力の周囲に発生
- ◆水を理解するには「第4の水の相」
- ◆情報を記憶する→情報を転写「波動水」
- ◆EMF4G、5G、6G→体液に影響（水の柱の構造を壊す）
- ◆血液は「第4の相」→ポラック、コーワン

# 電磁波について

- ・安全基準は誤った仮定に基づき、科学的証拠により改訂しなければならないことは明らか
- ・5Gの周波数は、無線周波数帯の中でも特に高い周波数
- ・その波長からミリ波(MMWとも呼ばれる)
- ・空港のボディスキャナーに採用、「安全」とされているが
  - ↳ 携帯電話の数千倍のエネルギーを放出する低エネルギーの非イオン化放射線を使用
- ・コーワン医師「6Gや5Gだけでなく、4G、3G、2G全て有害

## 経験から分かったこと

自然治癒のメソッドは、  
単に体の機能をサポートすれば、  
病気からの回復がより早くなる

# 自然に健康になるには(私の例)

- ・適度な運動（6割）
- ・呼吸法（吸う前に吐く）
- ・ニンジンジュース（ゲルソン療法）
- ・Intermittent fasting（断続的断食）
- ・アーシング・グラウンディング
- ・目の氣功
- ・好きなことをする
- ・思考



# 目の健康法



知乎 @钱金维Weber

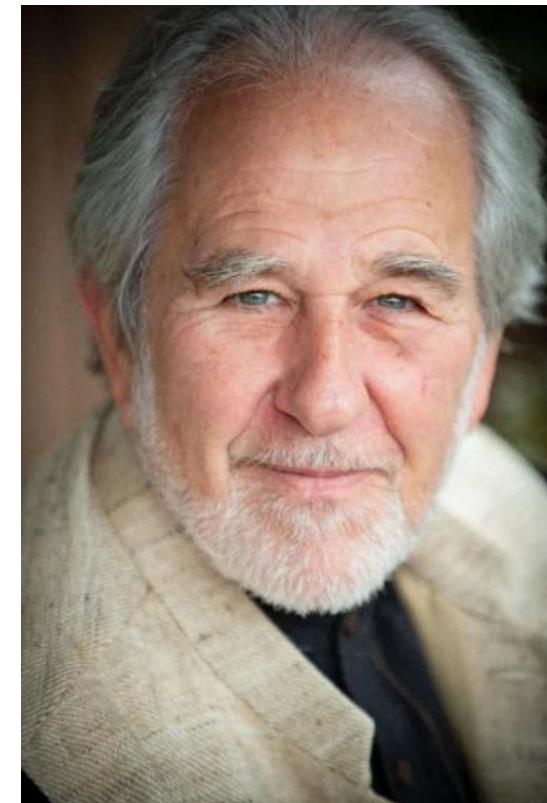
# ブルース・リプトン博士の主張

- ・ 健康的な環境を与えると、細胞は増える
- ・ 環境が最適ではない場合、細胞は衰弱する
- ・ 環境を整えると、病気の細胞は活性化する

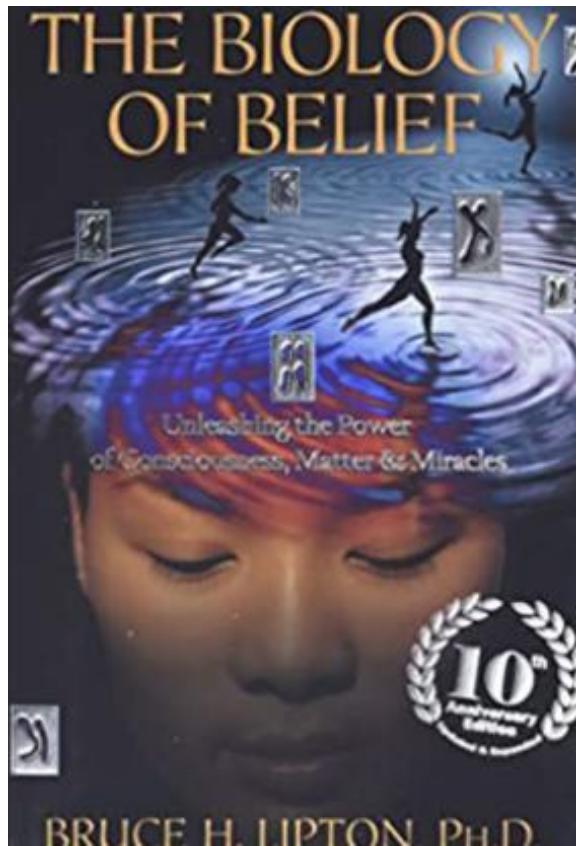
# ブルース・リプトン博士

(1944年10月21日)

- ニューヨーク州生まれ、発生生物学者
- エピジェネティクスで有名
- 著書「The Biology of Belief」
- 人体を動かすものは遺伝子ではなく、思考



# ブルース・リプトン博士 著書「思考のすごい力」



# 健康的な環境とは？



WHAT IS A HEALTHY ENVIRONMENT?



Lihisia.com

私は、自分をサポートしてくれる  
完全に健康で幸せな環境に住むことはできます。

Well, I could live in a perfectly healthy happy environment that will support me,

「病気や治療法を信じることは、健康的な生活の  
真の教育を妨げる効果的な障壁となる」

ハーバート・シェルトン

